



あざみ AZAMI

上級より の教え

AZAMI(薔) スコットランドの国花。短い夏のユフに咲く可憐な花。花のなかの平丸を打とうとしないユフラーにこの先住者は薔の花で、平和な暮らしを賣う権利は代々のセントアンリユーの聖人フランシスコが守り、アンブレヤブを宣言させたという逸話が残っている。

鈴木 康之
挿画 ● 唐仁原教久



あるプロが鳴尾GCの役員さんと歓談中に私の名前を出したところ、役員さんは「ああ、目土袋の鈴木さん」とおっしゃったそうです。嬉しい呼ばれ方です。目土のほうの印象でプレーのまずさは補われたように思いました。

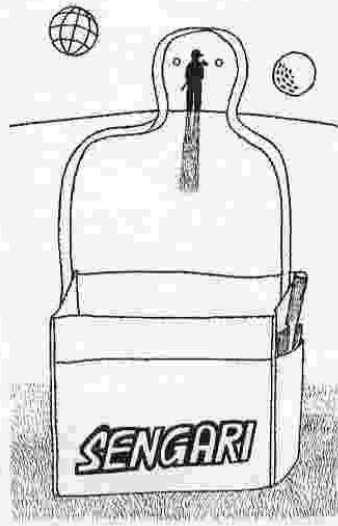
千刈CCの競技委員 貴島哲香さんも目土袋常用のゴルフファーです。ホームコースに限ったことではなくて、どこへでもです。クラブを代表して出場するクラブ対抗の競技会場でも下げます。そこでプレーだけでなく、「目土袋の貴島さん」とも呼ばれて有名なのだそうです。貴島さんのかっこうのよさ

をみんなも真似しようということになりました。やるとなつたら何事にも徹底するのが千刈の伝統。池戸支配人が関係先の協力を得て、使い勝手や堅牢性を徹底研究、世界一の目土袋を作りました。布製で、砂を出し入れしやすいようにマチのある二十一×十センチの口で、深さ十六センチの箱形。全部の辺にパイピングを施してあります。スコップ入れと小物入れのポケット二つ。ベルト裏には滑り止めを

兼ねた補強材を貼り合わせてあります。会員の中に有志の会が結成されました。「千刈目土を入れる会 ○野○男」のカードがつけられます。早くも百五十人を越えました。効果は絶大。埋めてないデイボット跡はほんとうに少なく、いつも通り目土袋を手にした私にはとても手持無沙汰なラウンドとなりました。千刈の会員にはもう一つ、独自の持ち物があります。天

地三十七×幅二十七・五センチ、マチ十センチの布袋です。袋には次のようなメッセージが刷り込まれています。

「先日千刈の脱衣場で着替える風呂敷に入れられる会員S氏がおられました。ご本人は何気なくお使いですが、これは小さいけれど、できることからエコロジー運動なんです。ゴルフのたびにビニール袋を毎回何枚も使っている私たちとの差は大きいです。目から鱗。ビニール袋を使わない意識を持ちたいゴルフファーズエコバッグです。大好きなゴルフをしながら、ゴルフファーができる小さなエコ活動の始まりです。二〇〇八年一月



プレゼントされます。(中略) 私は友人に教わって、ゴルフには必ず風呂敷を持参しています。私たちが日常生活の中で毎日無

吉目 千刈CC

今年二月の会報誌の編集後記に広報委員の武内浩子さんが(写謝野晶子さんのお孫さんなのだそうですが)、次のように書いています。

「千刈CCではゴミを減らす試みとして、風呂場に置いてあるビニール袋の代わりにゴルフファーズエコバッグを作りました。趣旨に賛同すれば

理なく続けられることといえ、ばゴミを少なくすることです(以下略) すでに二百人以上の会員が愛用しています。

いま「目土袋の貴島さん」から「目土袋の千刈さん」へ、「風呂敷包みの武内さん」から「エコバッグの千刈メンバ―さん」へ、嬉しい呼ばれ方が広がっています。

「ゴルフ」の用語向上にこの一冊! 鈴木康之著
「ゴルフ」のスピリット(小社刊)
新書刊・並製 定価900円(税込)

すずきやすゆき
ゴルフマナー研究
家業 著書に「ビニ―ターたちのゴルフマナー」(小社刊)などがある



できることからやろう 後始末とエコ

